

連携室だより

# 鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2018.4

vol. 144

## ご挨拶

院長：田中 康博



平成30年度を迎え挨拶を申し上げます。

私も赴任して10か月になります。当院の立ち位置や果たすべき使命など再認識し、気も引き締まる思いです。「良い医療、規範となる医療をネットワーク良く提供すること」を目標にしていますが、職員一同、誠心誠意仕事に励んでいるようです。ただ、評価するのは患者さんや住民の皆さんです。外からの声にもっと、もっと耳を傾けるべきです。また、きちんと評価してもらうために正しい情報をきちんと伝えなくてはなりません。そこでホームページも刷新させていただきました。まだまだ、不十分ではありますが、今後もまっとうな医療を行い、情報を発信し、きちんと評価してもらうように努力したいと考えています。

さて、今年度から大きな転換期を迎えます。鹿児島通信病院の機能移転に伴い、370床から410床へ増床され、新たに消化器内科の肝臓部門（肝臓病の診断や治療）、腎臓内科、眼科が加わります。高齢化社会を迎え、1人で複数の病気を患っている患者さんが増えて来ますが、あらゆる疾患、合併症にも対応可能な体制が取れると思います。それぞれが第一線で実績を出しているスタッフが集まりますので期待していただきたいと思います。また、この機能移転は、現在行われている地域医療構想の中で、経営母体の異なる公的病院が機能強化のために一つになるという重大なメッセージを鹿児島だけでなく全国にも発信しています。地域医療の難しさは、指宿（前赴任地）でも身にしみて感じています。私たちの行動が地域医療の解決の糸口にならないものかと思っております。伝統と文化の異なる二つの組織が一つになる大変さは、私のみならず、職員、特に鹿児島通信病院からの職員が最も感じているところと思います。その困難を乗り越えてこそ、今後の地域医療の在り方を示すことになると思っています。患者さんや住民の方にきちんと良い形で還元できるようにいたします。新しく迎える仲間は当院にとって「新しい風」になってくれる事でしょう。

今年度はフルマッチングで15名の研修医が集まってくれました。うれしい事に全員国家試験に合格しました。当院の附属鹿児島看護学校も卒業生全員が国家試験に合格いたしました。7割の卒業生が、当院を含め鹿児島の医療にかかわる事となりました。若人が集まり、巣立っていくことは有難く、当院の果たすべき使命の一つで、引き続き若い人を教育し、良い医療人として巣立っていく手助けをしたいと思っています。日本の保険制度は国民皆保険でどこでも安価で高度な医療を受けることができますが、各医療機関での質のばらつきが問題にもなっています。良い医療を受けるには、良い医療スタッフや医療機関に出会えるかどうかにかかっているのが現状でしょう。当院は選んでもらって間違いのないという医療機関を目指しています。そのためには各個人が高い意識を持つことと質の高い組織（チーム）を作る事が重要です。さらにそこから巣立っていく医療スタッフが各地、各施設で質の高い医療を展開してもらい、医療のばらつきのない社会になると幸いです。

今年度も「健康」という商品をまじめに皆さんへ提供させていただきます。よろしくお願いいたします。

平成30年4月

## 第24回

# 卒業証書授与式



平成30年3月2日に本校の第24回卒業証書授与式が挙行されました。卒業生72名が堂々とした姿で田中康博学校長より卒業証書を授与され、学び舎を後にしました。多くの方々からお祝いと激励の言葉を頂き、今後看護専門職として働いていくことについて身が引き締まる思いだったと思います。

卒業生の学校生活を振り返ると、毎日必死で看護に必要な学習を頑張っていた姿が思い浮かびます。3年生の臨地実習中は、受け持たせていただいた患者さんに最善の看護を提供したいという思いで、一生懸命学習に取り組み看護を実践していました。看護判断や看護実践では、病棟の実習指導者さんから看護に必要な知識・技術・態度について多くの指導を受けてきました。学生それぞれが指導を受け止め、改めて看護の魅力を感じつつ、切磋琢磨しながら自分の目指す看護師像になれるよう日々頑張っていました。4月からは、進学する人、病院で看護師として働く人、それぞれの道を歩んでいくこととなります。これからも、看護者としてさらに成長していけるよう心から願っております。

(文責：鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校 看護教員 西園 里美)



### ■お問い合わせ先

独立行政法人  
国立病院機構

## 鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 蘭田・丹後田・田上・吉永・迫田・中田・吉留・菊永・櫻木・田辺・前田

【がん相談】 松崎・森・水元・原田・久保・杉本・児玉

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。



## 看護職員就職説明会に参加して

去る3月10日（土）に国立病院機構九州グループ主催の就職説明会が、福岡のJR九州ホテルで開催されました。九州管内全28施設が集まり、平成31年度看護職員採用に向けて各施設の特徴、看護など知っていただく機会であり、今年は最終的な来場者数が497名と過去最高人数となりました。

当院では看護師確保プロジェクトの2年目看護師が中心になり、就職説明会に向けてパンフレットや新人看護師の1日を紹介するDVD作成、椅子カバーのデザイン作成など行ってきました。当日はそれらを用いながら2年目看護師が来場者に近い立場で元気にわかりやすく説明をしてくれました。

今回の説明会への参加を通し、2年目看護師のパワーと成長を実感するとともに、病院見学会や採用試験への応募に繋がると期待しています。

（文責：副看護部長 佐々木 容子）

以下は説明会に参加した2年目看護師の感想です。

私が福岡での就職説明会に参加したのは2回目です。1回目は看護学生の頃で、今回は看護師としての参加です。参加された看護学生の姿が3年前の自己の姿と重なって見えました。少しでも多くの方に鹿児島医療センターの魅力が伝わり、今回の説明会を通して就職先を選択するきっかけになったらと思いました。

（文責：東5階病棟看護師 森山 海帆）

今回、私は福岡で開催された九州グループの就職説明会に参加させていただきました。会場には500名近くの看護学生が来場し、30秒PRでは西郷どんに負けないくらいの鹿児島弁で元気にアピールできました。ブースでは各病棟の特色や新人教育のすばらしさを伝えることができ、鹿児島医療センターの良いところを知ってもらう良い機会に参加できて良かったと思いました。

（文責：東7階病棟看護師 川路 綾香）

たくさんの学生さんがブースに来て下さり、鹿児島医療センターの魅力を知っていただくことができたととてもうれしく感じました。中には1年生の参加も多く見られ、早くから自分の看護師像をしっかりと持ち頑張っている学生さんに、とてもいい刺激をいただきました。

（文責：西3階病棟看護師 萩原 彩香）



放射線科

井手上 淳一

新任紹介

平成30年3月よりお世話になっております、放射線科 井手上 淳一と申します。

これまで放射線科業務のなかで画像診断・IVRを中心に従事しておりました。当院には1年ほど前も勤務させて頂きましたが鹿児島の医療を考えるうえで重要な拠点である病院ですので大変大きな責任を感じています。患者様の有益な情報となるようなあるいは有益な治療となるようにできる限り情報を up to date して日々の診療に携わらせて頂くことができたらと思っております。

一日でも早く当院に慣れ、戦力として活躍できるよう頑張ってまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

# 第5回 鹿児島医療センター院内学会

平成30年3月3日（土）当院の大会議室で第5回院内学会を開催しました。学会のコンセプトは「病院内の各部署の相互理解を深め、当院の臨床研究の推進を図る」です。

各々の部署で日々どんなことが行われているかは現場にいないと分かりません。院内学会は各部署で行われている研究の一端を知ること、相互理解を深めてもらい、当院の臨床研究を推進する目的で始めました。今年も素晴らしい演題が14題発表されました。内訳は診療部から3題と、臨床研究部から1題、薬剤部から1題、検査科から2題、放射線科から1題、栄養管理室から1題、看護部から3題、看護学校から1題、事務部から1題です。各々の演題に対して時間を忘れてしまうほどの活発な討議がなされました。



院内学会に対して行ったアンケートでは「症例や他部門の取り組みなど、今回の学会を通して知ることができ、非常に有意義な学会だった。」「もっとPRして、参加者を増やすべき」「口演賞とか授与すればどうか」などの意見がありました。

評価者は院長、看護部長、副院長、事務部長、統括診療部長、臨床研究部長で、各セッションの座長にも評価してもらいました。第1位：東7階病棟 尾辻 真由美さん、第2位：臨床研究部（臨床検査科）梅橋 功征さん、第3位：臨床検査科 原田 美里さんが選出され、3月13日に行われた合同送別会にて表彰が行われました。

院内学会は病院の年中行事として定着しました。来年も盛大な院内学会を開催したいと思います。職員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

（文責：臨床研究部長 城ヶ崎 倫久）

## 院内学会プログラム

### I群 座長：第二循環器科医長 東 健作 血液内科医長 原口 浩一

- |   |         |       |
|---|---------|-------|
| 1. Bentall 術後早期に両側冠動脈起始部に高度狭窄を来した一例                   | 第1循環器内科 | 有村 俊博 |
| 2. 当院における大動脈弁再建術（AV Neo cuspidization）4例の検討           | 心臓血管外科  | 川津 祥和 |
| 3. 寒冷凝集素症（CAD）を合併した Evans 症候群の1例                      | 小児科     | 田邊 貴幸 |
| 4. 血管内皮細胞でのインターロイキン-33とインターロイキン-1βによるインターロイキン-8誘導の相違点 | 臨床研究部   | 梅橋 功征 |

### II群 座長：副薬剤部長 林 淳一郎 理学療法士長 木村 英志

- |   |       |       |
|---|-------|-------|
| 5. 唾液腺導管癌細胞像の検討                                     | 臨床検査科 | 吉野 歩  |
| 6. 心原性脳塞栓症における心電図の検討                                | 臨床検査科 | 原田 美里 |
| 7. 脈波同期 4D Phase Contrast Angiography における頸胸部MRAの描出 | 放射線科  | 村山 淳一 |
| 8. 簡易懸濁法の取り組み                                       | 薬剤部   | 松島 静香 |

### III群 座長：事務部庶務係長 山本 孝平 副看護師長 前田 麻美

- |   |         |        |
|---|---------|--------|
| 9. 鹿児島医療センターにおける口腔ケア委員会による口腔ケア向上の取り組み～口腔ケア学習会の効果と今後の課題～ | 口腔ケア委員会 | 川崎 順子  |
| 10. 効果的な食事支援についての検討～多角的視点から得られた考察～                      | 栄養管理室   | 廣石 さやか |
| 11. 糖尿病療養支援における SESD、EESD を用いた自己効力感測定の意義                | 東7階病棟   | 尾辻 真由美 |
| 12. 急性期脳梗塞に対する血栓回収療法のための時間短縮への取り組み                      | 東5階病棟   | 井手 智子  |
| 13. 基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）における看護実践に向けての事前実習準備の効果と課題          | 看護学校    | 西元 智子  |
| 14. 公的3病院による診療材料費削減への取り組み                               | 事務部     | 清田 和博  |